



駐屯地司令新年挨拶

第4施設団長兼ねて

大久保駐屯地司令

陸将補 坂元 秀明



新年明けましておめでとうございます。協力会会員の皆様におかれましては、心穏やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より大久保駐屯地へのご理解、自衛隊に対する物心両面のご支援、隊員への温かい激励、防衛基盤の醸成に「尽力を頂く等、自衛隊の活動に格別の御厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、昨年の国内外情勢を振り返りますと、国家間の相互依存の関係が一層拡大・深化する一方で、米英露の新たな安全保障枠組みであるAUKUSの設立、また、中露の共同歩調の深化等、今後、国際競争は更に増加・拡大していく可能性があると、より重大な事態へと急速に発展していくリスクをあらわしており、我が国を取り巻く安全保障環境は、これまでにならぬほど不安定さが増大しております。

国内においては、豪雪、集中豪雨、鳥インフルエンザの発生等が頻発しました。一昨年十二月の五條市における鳥インフルエンザ発生に係る災害派遣以降、京都府南部及び奈良県では大規模な災害は発生していませんでしたが、我々は、初動派遣部隊（ファストフォース）をはじめ、各種事態等への対処態勢を維持し、即応に万全を期してまいりました。

また、一昨年からの世界的大流行となった新型コロナウイルス感染症も、我が国を含む国際社会の安全保障上、重大な脅威となりました。大久保駐屯地も感染拡大を防止する取り組みを強力に推進した一方で、八月には駐屯地において集団感染を発生させ、皆様にご心配をお掛けしたことをお詫び申し上げます。

新型コロナウイルスの感染状況は、新たな変異株の出現により予断を許さないうち、一日から願っております。このような状況ではあったものの、大久保駐屯地は創立六十四周年、第4施設団は節目となる創設六十周年を迎え新たな一歩を踏み出すことができます。皆様から頂いた永きご支援、ご協力に改めて深く感謝申し上げます。

これから多様な役割に実効的に対応するため、隊員個々の「心技体の充実」を図り、各種事態を想定した訓練を行い、関係自治体等と「連携」した即応態勢の維持向上に努め、皆様方からの信頼を得るため、任務遂行し得るよう引き続き邁進する所存であります。



発行：大久保自衛隊協力会 陽融会 大久保駐屯地桃友会 45会 編集：第4施設団本部 第1科広報班 印刷：進晃堂印刷

駐屯地司令要望事項

即応と信頼

紙面紹介

- 1 面
・駐屯地司令新年挨拶
・4 協力団体会長新年挨拶
2 面
・部隊長新年挨拶及び各部隊訓練等記事
3 面
・部隊長新年挨拶及び各部隊訓練記事
4 面
・家族支援に係る協定締結
・鳥インフルエンザに係る災害派遣の感謝状贈呈式
・奈良県防災フェア2022 2 方面記念行事
・駐屯地文化展
・令和三年度日米共同方面隊指揮所演習「YS-81」
・編集後記

大久保自衛隊協力会



会長 林 勉

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、ご家族お揃いで令和四年の新年を健やかに迎えたいとお慶び申し上げます。



会長 坂下 弘親

新年あけましておめでとうございます。大久保自衛隊の皆様が健やかに新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。



会長 松田 篤彦

新年あけましておめでとうございます。皆様と共に新年を迎えられたことを、心よりお祝い申し上げます。



会長 土居 一豊

新年あけましておめでとうございます。輝かしい初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

4 協力団体会長新年挨拶

催され、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等、心配されましたが日本選手の活躍で国民に大きな感動をもたらした、無事に閉会する事が出来ました。開催にあたり、自衛官の約8500名が派遣され、大久保自衛隊からも隊員が動員されており、大会の円滑な運営に寄与されました。

本来の任務である国防のほか、近年は異常気象で災害が多発し、災害派遣も重要な自衛隊の任務となり、大変ご苦労頂いております。事により敬意を表したいと思います。

今後とも、国の安全・安心のため、日々厳しい訓練に励まれ任務を全うされます事を願っております。

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、ご家族お揃いで令和四年の新年を健やかに迎えたいとお慶び申し上げます。

昨年は、コロナ禍の影響により、駐屯地の各種行事も予定通りの開催とはならず、会の活動も屋外での清掃に終始しました。今年度は、「壬寅（みずのえとら）」で「新しい芽が成長する」と言われています。

新たな生活様式の中で、大久保駐屯地が状況に応じた成長をされますよう、微力ではありますが、応援を惜しまず行ってまいりたいと考えております。

どうか駐屯地の皆さん、日本のため、社会のため、家族のため、仲間を信じて隊務に励んでいただきたいと思っております。

今年が皆様にとって、実り多き年となりますよう、お祈り申し上げます。

令和四年が、隊員・ご家族並びに自衛隊を応援する皆様にとりまして幸多き年となりますよう、ご祈念致します。

# 部隊長新年挨拶及び各部隊訓練等記事

## 「新年挨拶」



千葉 1 佐

新年明けましておめでとうございます。昨年12月22日付で、第7施設群長として着任いたしました。千葉1佐です。部隊指揮官としての重責を全うすべく、部隊の更なる発展に向け、粉骨砕身の所存です。本年も皆様からの信頼を頂けるよう、「鍛錬無限」一層訓練に励み、我が国の平和と独立を守り抜くという使命を果たし、国民の負託に応えるため、日々精進してまいります。本年もどうぞよろしくお願いたします。

## 「新年挨拶」



宿 久 1 佐

新年あけましておめでとうございます。部隊、隊員、隊員家族のため使命を自覚し、各分野のプロフェッショナルとして平素、有事に万全の支援ができるよう、一丸となって頑張ります。コロナ禍でご支援を頂いている皆様との交流も限定されていますが、平常を取り戻し、皆様と楽しく過ごせることを祈っております。本年もよろしくお願いたします。

## 第 7 施設 群

第7施設群は、十一月中旬に富山駐屯地、三子牛山射場、長池演習場及び祝園分屯地において、本部管理中隊に所属する1個通信班及び第382施設中隊に対し、群野営（訓練検閲）を実施しました。



重機関銃による射撃



汚染地域の除染作業



衛生教育



隊員食堂

各種通信電子器材をもって、部隊間の指揮連絡のための通信を確保し、前線にて施設支援のため活動する中隊が常に万全な態勢で作戦行動を行うことができるように、群通信組織の構成・維持・運営を実施し、戦闘部隊を支援するため、被支援部隊のニーズを第一義に各種施設器材をもって、交通作業、陣地構築及び障害構成作業を実施し、任務を完遂しました。併せて祝園分屯地内の未舗装道路に対して、碎石の敷き均し及び転圧等を実施し、同分屯地機能の維持向上に寄与しました。

## 大久保駐屯地業務隊

大久保駐屯地業務隊は、所在部隊の任務達成と隊員の充実した生活のため、平素から様々な業務に加えて、各種会同や委員会を開催して、必要な情報の提供やニーズ等の聴き取りを行い、日々改善に努めています。今回は補給科、特に糧食班の日々の頑張りについて紹介します。

糧食班はご存じの通り、隊員の活動の骨幹となる健康と体力の維持向上に寄与すべく、栄養バランスの取れた食事を提供しています。また、その食事を美味しく、かつ日々の楽しみとするため、献立の工夫や給食委員会を通じた意見交換により、日々の食事を楽しんでもらえるよう、努力しています。また、他駐屯地との意見交換や研修を通じて給食業務力の改善・発展を図っています。本年は「隊員の胃袋をつかむ」を合言葉に魅力ある給食業務に邁進する所存であります。

## 「新年挨拶」



菅原 2 佐

旧年は、第3施設大隊に対する多大なるご支援を賜り心より御礼申し上げます。今後とも皆様に信頼される部隊であり続けるため、隊員一人一人が自衛官としての誇りを堅持し、各種任務を完遂できる部隊を目指して、日々訓練に励んでまいります。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

## 「新年挨拶」



富岡 3 佐

昨年は、被支援部隊である第4施設団の協力のもと、実効性のある訓練を実施でき、飛躍の年となりました。また、コロナ禍においても尽きぬ部内外の皆様への応援のおかげで、部隊が頑張りが続くことができました。感謝の念が堪えませんが、今年も、昨年の成果を継承するとともに、楽しいことも苦しいことも全て飲み干した味のある部隊として、更に一歩ずつ前進させていきます。

## 第 3 施設 大隊

第3施設大隊は、令和三年九月下旬、爽やかな秋風が吹く青野ヶ原演習場において、施設中隊に対する訓練検閲を実施しました。本検閲においては、交戦装置（ハトラ）を使用して、より実戦に近い環境下で、諸職種協同による任務遂行要領を実施しました。



負傷隊員への救護処置



84式無反動砲による射撃

検閲に先立ち、それぞれの中隊に対して隊容検査を実施して、人員の準備状況、各種部隊装備火器の取り扱い及び第一線救護の練度確認を行い、中隊の訓練検閲に対する準備状況を確認しました。状況間、受閲部隊はそれぞれ、中隊長を核心として、敵部隊の様々な妨害活動等に柔軟に対応し、最後まで諦めることなく与えられた任務を達成することができました。各中隊等は、本訓練を通じて、諸職種協同能力、指揮・指導能力及び関係部隊との調整能力の向上を図ることができました。

## 第 104 施設 直接 支援 大隊

第104施設直接支援大隊は、令和三年十月下旬から大久保駐屯地において高石2尉以下十九名により、大隊指揮所及び通信施設の開設訓練を実施しました。

大隊指揮所開設命令下達後、大隊指揮所及び作業室、通信施設（有線・無線の構成）の開設・運営を練成するとともに、訓練指導部により指揮所の開設手順、包装覆いによる偽装要領及び隊員の基本的動作の指導を徹底しました。訓練間、各構築班長は適時適切な命令をもって班員を指揮し、各班員は与えられた命令を復命・復唱し、命令に示す開設完了時間までに指揮所及び通信施設の開設を完了しました。本訓練を通じて、各隊員の練度の向上及び大隊指揮所開設に伴う諸元の獲得等の成果を得ることができました。今回明らかになった課題点を次回訓練に反映し、如何なる状況下においても第4施設団の野整備支援の根幹となるべく更なる練度向上を図っていく所存です。



大隊指揮所開設



通信所開設

第 3 0 7 ダンプ車両中隊

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、コロナ禍において、「自覚と自制心」を心がけ、いかなる状況下においても任務を整理と完遂できる「自信と誇り」に満ちた第307ダンプ車両中隊を育成しました。皆様方の温かいご支援、ご協力に感謝申し上げます。大久保駐屯地の更なる発展、充実に寄与する所存です。引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



木村 3 佐

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、コロナ禍において、「自覚と自制心」を心がけ、いかなる状況下においても任務を整理と完遂できる「自信と誇り」に満ちた第307ダンプ車両中隊を育成しました。皆様方の温かいご支援、ご協力に感謝申し上げます。大久保駐屯地の更なる発展、充実に寄与する所存です。引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



現地調整(舞鶴航空基地)



舞鶴地区への輸送

第307ダンプ車両中隊は、十月中旬から大久保、出雲、三軒屋、富山、鯖江、岐阜、豊川、和歌山、久居駐・分屯地及び長池演習場において、「第4施設団の作戦準備とともに方面の全般支援に任ずるダンプ車両中隊の行動」について団訓練検閲を受閲しました。長期間に渡る作戦準備間の行動を焦点にした検閲であり、自らの準備を推進しつつ、団隷下部隊の輸送支援、方面隊の全般支援を実施するとともに、予想される任務に応じた訓練の実施により、隊員はいかなる状況下においても任務を整理と完遂できる練度を向上させることができました。

第 1 0 2 施設器材隊

謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年は、陸上自衛隊演習に参加するとともに、東京オリンピック大会大会支援を実施しました。今年度は、団訓練検閲を受閲予定であり、実戦で戦い、勝利する気構えで臨みたいと思っております。引き続き、皆様の御理解と御協力のもと、事に臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に努めます。皆様の御健勝を祈念申し上げます。



川田 2 佐

第102施設器材隊は、令和三年九月下旬から伊丹駐屯地において陸上自衛隊最大規模の演習である令和三年度日米共同方面隊指揮所演習に係る施設構築を実施しました。本支援は、器材隊隷下の架橋中隊が担任し、器材隊から約70名が参加し、天幕約400張を展開して、「木製パレット」等は約9000個を要所に合わせて加工し、設置しました。また、降雨対策として構築施設周辺の排水処置(側溝・雨樋の作成)等を実施し、本演習の訓練基盤を確保しました。参加者全員が任務に真摯に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症対策に留意しつつ、体調管理及び安全管理を徹底し、施設構築支援を終えました。



天幕構築



排水処置

本支援は、器材隊隷下の架橋中隊が担任し、器材隊から約70名が参加し、天幕約400張を展開して、「木製パレット」等は約9000個を要所に合わせて加工し、設置しました。また、降雨対策として構築施設周辺の排水処置(側溝・雨樋の作成)等を実施し、本演習の訓練基盤を確保しました。参加者全員が任務に真摯に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症対策に留意しつつ、体調管理及び安全管理を徹底し、施設構築支援を終えました。

第 4 施設団本部付隊

新年おめでとうございます。旧年は皆様から多大なご支援ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。本年の干支である壬寅には「芽吹き始め、新しい成長の礎となる年」という意味があるそうですが、団本部付隊も「一味同心」の統率方針の下、隊員一丸となり、より一層の発展を目指し精進してまいります。本年もよろしくお願いたします。



中田 1 尉

第4施設団本部付隊は、令和三年度日米共同方面隊指揮所演習「YS181」に参加し、主に通訳支援及び施設調整所の維持運営を担当しました。その中でも、特に英語を得意とする森1曹、森2曹は、偵察班(偵察班長として勤務をし、TOEIC990点満点中940点の得点を保有し、本訓練では、米軍との調整や情報の収集に活躍しました。岩本2曹は、団本部第1科広報隊として勤務し、英語検定2級、TOEIC750点の得点を保有しています。これまで数々の通訳支援に参加しており、YS(日本合同訓練、キーンエッジ(海兵隊合同訓練)、サザンジャッカル17(17普通科連隊)追撃砲中隊合同訓練)等の通訳支援に参加し、令和三年度日米共同方面隊指揮所演習「YS181」に4回目の参加となる今回は、通訳を主任務として活躍しました。



情報見積(森1曹)



通訳支援(岩本2曹)

第 3 9 7 会計隊

新年あけましておめでとうございます。昨年は、コロナ禍ではありますが感染拡大防止に努め、部隊としての練度向上を図ることができました。本年も会計科隊員一人一人が会計のプロ意識、奉仕の心を持って任務に邁進する所存です。本年も皆様にとって幸多き一年となりますよう心から祈念申し上げます。



青木 3 佐

会計隊と聞くと、デスクワークで訓練はしていないのではないか、という印象を持たれがちですが、三月から五月までの年度末業務を終えてから後方支援職種として必要な日々の体力練習は勿論のこと、野外訓練・各種検定を実施しています。中部方面会計隊集中野外訓練において、一夜二日の連続状況下で、作戦地域へ展開し、初動における警戒防護及び実務態勢の確立について演練しました。また、今年度からは、二個会計隊で編組した会計支援隊での訓練及びWiFi機器を用いた訓練実施要領・隊員間の認識統一等、試行錯誤を繰り返して、訓練練度の向上を図ることができました。引き続き、国民に信頼され、真に必要な会計隊として日々邁進していく所存であります。



命令下達



使用地域の安全化

会計隊と聞くと、デスクワークで訓練はしていないのではないか、という印象を持たれがちですが、三月から五月までの年度末業務を終えてから後方支援職種として必要な日々の体力練習は勿論のこと、野外訓練・各種検定を実施しています。中部方面会計隊集中野外訓練において、一夜二日の連続状況下で、作戦地域へ展開し、初動における警戒防護及び実務態勢の確立について演練しました。また、今年度からは、二個会計隊で編組した会計支援隊での訓練及びWiFi機器を用いた訓練実施要領・隊員間の認識統一等、試行錯誤を繰り返して、訓練練度の向上を図ることができました。引き続き、国民に信頼され、真に必要な会計隊として日々邁進していく所存であります。

第 3 1 8 基地通信中隊大久保派遣隊

新年あけましておめでとうございます。大久保派遣隊へのご理解とご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。本年は基地通信業務の新しい態勢に対応するよう個人の技術向上に努めてまいります。駐屯地協力会及び駐屯地の皆様にとって希望の年となりますよう心より祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。



尾崎 3 尉

第318基地通信中隊大久保派遣隊は、令和三年度陸上自衛隊演習に参加し、駐屯地に通信支援センターを開設し、良質・安定した通信回線の提供を目標に通信支援を実施しました。また、同演習期間内において回天特別攻撃隊員の出撃記録、持ち場を離れなかった佐久間艇長以下14名、九人の乙女の碑等の精神教育を実施し、隊員個々の使命感を涵養するとともに、自己の役割を十分に理解して、その役割を果たすことが重要であることを教育しました。基地システム通信が24時間使用できる環境を維持し、駐屯地所在部隊の通信所要の増加に適切に対応ができるよう、また障害発生時における迅速な復旧による使用部隊、使用者の皆様への影響を局限にするため、隊員個々の技能向上の研鑽を継続します。



システム・電話機増設



通信支援センター開設

第 3 後方支援連隊 第 1 整備大隊施設整備隊

新年明けましておめでとうございます。昨年は感染症対策の中で隊務となりましたが師団の施設器材を積極的に整備するという責任感をもって勤務に邁進しました。また隊として検閲の受閲を目標として練度を向上させることができました。本年もいかなる状況下においても隊員一丸となって任務を完遂できる部隊を創造していきますようお願いいたします。



石垣 1 尉

第3後方支援連隊第1整備大隊施設整備隊は、十一月月上旬に演習場内において師団競技会に参加しました。競技会ではグループ別部隊対抗及び階級等別個人対抗により順位を競いました。当日は天候不順のため、泥が跳ねあがり足が滑る中、全隊員が約5kmの距離を力走しました。残念ながら、部隊の部では入賞を逃しましたが、個人の部では見事我が部隊の加藤2曹が、個人の入賞として師団長から表彰状を授与されました。次に、九月から大阪府に所在する信太山駐屯地(第37普通科連隊)においてレンジャー教育に訓練参加した柳本3曹が全ての任務を完遂して信太山駐屯地に帰還しました。帰還式では大勢の隊員、家族を迎えられ、中、大きな背のうを持ち、隊列を組んで帰還する柳本3曹の姿にレンジャー隊員としての精進を感じました。今後の部隊における更なる活躍を期待します。



力走する加藤2曹



レンジャー教育修了記念

第3後方支援連隊第1整備大隊施設整備隊は、十一月月上旬に演習場内において師団競技会に参加しました。競技会ではグループ別部隊対抗及び階級等別個人対抗により順位を競いました。当日は天候不順のため、泥が跳ねあがり足が滑る中、全隊員が約5kmの距離を力走しました。残念ながら、部隊の部では入賞を逃しましたが、個人の部では見事我が部隊の加藤2曹が、個人の入賞として師団長から表彰状を授与されました。次に、九月から大阪府に所在する信太山駐屯地(第37普通科連隊)においてレンジャー教育に訓練参加した柳本3曹が全ての任務を完遂して信太山駐屯地に帰還しました。帰還式では大勢の隊員、家族を迎えられ、中、大きな背のうを持ち、隊列を組んで帰還する柳本3曹の姿にレンジャー隊員としての精進を感じました。今後の部隊における更なる活躍を期待します。

家族支援に係る協定締結

令和三年十二月十七日(金)、大久保駐屯地、奈良県自衛隊家族会及び奈良県隊友会の3者間において、奈良県に所在する隊員家族の支援に対する協力に関する協定を締結しました。



3者間における署名



記念撮影(撮影時のみマスクを外しています。)

鳥インフルエンザの感謝状贈呈式

第4施設団は、この度、農林水産大臣から鳥インフルエンザの蔓延防止のための防疫措置の実施に尽力した功績により、感謝状を授与されました。



記念撮影(撮影時のみマスクを外しています。)



懇談の様子

奈良県防災フェア2021

令和三年十二月十九日(日)、上野運動公園において実施された奈良県主催の「奈良県防災フェア2021」に、大久保駐屯地から、第7施設群及び第3施設大隊が参加しました。



来場者による見学



体験搭乗



3施設太鼓の演奏

方面記念行事

令和三年十月二日(土)、兵庫県に所在する伊丹駐屯地において方面記念行事が実施されました。



ダンプアップ体験



グラップルの操作体験



ロープワーク体験

駐屯地文化展



【隊員の部】最優秀賞 刻字「感謝」

令和三年十二月上旬、大久保駐屯地は令和三年度駐屯地文化展を開催しました。

令和三年度日米共同方面隊指揮所演習「Y S I 8 1」



統合幕僚長(二列目左から4番目)との記念撮影

令和三年十二月上旬から伊丹駐屯地において令和三年度日米共同方面隊指揮所演習「Y S I 8 1」が実施され、

編集後記

大久保駐屯地広報紙「やましろ」読者の皆様、新年あけましておめでとございます。



大久保駐屯地ホームページ



大久保駐屯地 Twitter

現在のフォロワー 7903人!! (3.12.23現在)